

「岡田希望の家」からこんにちは！



岡田希望の家は、就労継続支援B型事業所です。岡田町にあります。今月は寒い季節を快適に過ごすために、オリジナルの防寒着『ぬくぬく』の作製を手掛けている岡田希望の家を取材してきました。



『ぬくぬく』は、腰回りに綿がしっかり入った防寒着です。地域の皆様からご寄付頂いた着物などの布地を洗って分解し作製します。

決められた型に合わせて布地を裁断、ミシンで縫い合わせる、綿を詰めて止める、仕上げるといった工程毎にそれを得意とする人が担当して力を合わせて作り上げていきます。岡田は古くから藍の栽培が盛んでした。希望の家でも藍を栽培し染色を行っています。藍以外の草木でも染色しています。染色をする時に、布の一部だけを染色液に漬けてじつと待つ作業が得意な人もいます。



(取材・文 坂西委員)

自主製作品は常時希望の家で販売をしています。店舗という形態ではないのですが、興味を感じた方はぜひ見に行かれてはいかがでしょうか。とても素敵な製品たちに出会えますよ。



自主製作品 価格

ぬくぬく 各種	¥3,500
草木染ストール	¥3,000～¥4,000
藍染型抜きハンカチ	¥ 880
バッグinバッグ	¥1,600
猫のティッシュ入れ	¥ 500
その他 多数	

お問い合わせ 0263-46-3320



岡田希望の家では24時間資源物の回収をしています
雑誌、新聞、段ボール、牛乳パック、アルミ缶等
利用者さんのお仕事になります！

編集雑記

今回の館報おかだは、岡田町の話が主になりました。テレビでの話題などもあり、岡田がHOTになりつつあります。これからも皆様のお役に立てる紙面を作っていきます (S)

10月11日(月)に岡田公民館を利用する団体の代表約20名が掃除と防災訓練を実施しました。秋晴れの暑い中、館内の掃除や草むしりなど手分けして約1時間行いました。その後、館内の防災訓練も行われ調理実習室から火災が発生した想定で岡田地区地域づくりセンターの職員の誘導の下、2階非常口を実際に利用するなど確認をしていました。(取材・文 浅輪委員)



岡田公民館清掃 避難訓練

岡田ぼんちニュース

岡田町のお地藏様

●岡田町●

長い歴史を誇る、古くからの住宅地である岡田町。その真ん中を南北に通る街道の真ん中あたりの西側に地藏堂があります。朝夕その前を通る学生さんや、散歩、通勤の多くの方々、手を合わせてお参りするお地藏様が安置されています。

地藏堂の右側に立っている立札によると、

善光寺参り、その他諸用の
 通行人の安全祈願、また、亡
 くなった通行人の供養のため、
 享保六年(1721年)に、
 ここ岡田宿の南口に安置され
 た。現在地元により春のお彼岸
 にお祭が行われており、供
 え物をして大数珠を回しながら
 お念仏を唱え、無病息災や
 幸せを祈っている。

平成二十二年七月

岡田町会

岡田歴史研究会

となっています。また、昭和15
 年屋根の修復、昭和54年全面修
 復が地域の皆様の協力によって
 行われました。



修理の際外に置かれた
 お地藏様の姿
 昭和54年3月



真ん中が大日如来像
 昭和54年3月吉日

(岡田町 竹内富美)

お彼岸の大数珠まわしは、岡田町の仲町(現岡田町四・五常会)の女衆や子どもたちが春の彼岸の中日に地藏堂の前に集まって、大数珠をまわしてお祈りします。その時のおだんごやお菓子などのお供えやお堂のそじを当番の家が四軒ずつでまわり持ちでしていましたが、平成19年からは二軒ずつになっています。コロナの影響で、今年は大数珠まわしは中止になりましたが、毎年、千羽鶴やお花などの供え物を寄付してくださる方もいて、現在まで連綿と続いています。

地藏堂の中の四体の石仏の中で、ひときわ背が高く、すらりとして厳かなお顔の大日如来像、お地藏様と呼ばれ親しまれています。今日も登校途中の小学生在が小さな手を合わせてお祈りしています。

岡田小6年生 地域の歴史散策 ～岡田宿・善光寺街道～

岡田小の6年生が地域の歴史散策で岡田宿へ出かけました(東組9月14日、西組15日)。

岡田歴史研究会より宇佐美映之さん、大澤道直さんを講師に迎え、一緒に歩きながら岡田宿や善光寺街道についての話を聞きました。『土地を治めるには道が大事』『昔の旅は命がけ』など、講師の方の生の声を通して実際の史跡を見てみると、何気なく通っていた場所が全く違う景色に変わっていくようでした。子ども達も感じるが多かったのではないのでしょうか。ちょうどプラタモリで松本が特集されて、歴史散策が注目されています。岡田の子ども達は地元しながら歴史散策ができますね。地元で今まで気に留めていなかったけれど実は面白いこと、これから見つけてほしいです。(取材・文 西田委員)



岡田口番所跡
 善光寺街道(左)と
 江戸道(右)の
 分岐点



岡田宿の説明を
 熱心に聞く6年生

雑記とは、さまざまなことを思いついたままに記すこと、およびその文章という意味の言葉です。何でも書いてよい、ノンジャンルということでもあります。そんな中で私の多趣味について書いてみたいと思います。一般的に多趣味はどれも中途半端で飽きっぽく、浪費しそうで、実際どれも正解だと思いません。私自身も多趣味だけれど中途半端で飽きっぽくからず。

私の趣味を紹介します。

①カメラ ②囲碁 ③山菜取り
 ④ネットサーフィン ⑤骨董
 ⑥そば打ち ⑦音響機器
 ⑧その他多数・・・

よくもまあこんな趣味やっているなあと思っても

半ば呆れています。自分としてはやろうと思っただけでなく、自然に増えていく、また結果このようになっていきます。でも実際は同時進行しているわけではなく、一旦飽きてまたブームがやってくる感じです。でも多趣味のメリットもあります。

私の趣味 山浦 服部 俊治

選ぶとしたならばキヤノン、ニコン、ソニーのミラーレスのデジタル一眼レフカメラです。しかし私が最も魅力を感じているカメラはアナログ、ライカ(ドイツ製)のフィルムカメラです。機械としての仕上がり、精密感も当然ながら1950年代という、まだ職人芸が残っている時代だから作ることができたバネじかけのカメラ、世界中のカメラメーカーが競って追い越そうとしたけれどかなわなかったそうです。

撮る喜びもありますが、見て触っているだけで心が落ち着きます。私だけでしょうか・・・

